No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
1	③世界の炭田展望台	1	豪州ワララ炭	ごうしゅうわららたん		36.0	48.5	30.3	**ワララ炭鉱の塊炭**　　重量約100kg ワララ炭鉱は、オーストラリアのニューカッスル市南のマックオーリー湖付近に1888年設立され、爾来100年にわたり湖底の採掘を続けている歴史ある炭鉱です。 この塊炭は、宇部市とニューカッスル市が姉妹都市の関係にあることから関係各位のご尽力により平成4年10月16日に本市にご寄付いただいたものです。 ここに両市の末永い友好のあかしとして展示いたします。 寄贈：コール・アンド・アライド社 平成5年4月
2	③世界の炭田展望台	2	大派炭	おおはたん					目籠のなかに入れて展示している
3	③世界の炭田展望台	3	目籠	めご		29.0	29.0	20.0	大派炭を入れて展示している
4	⑦木造機帆船「天神丸」	1	天神丸模型	てんじんまるもけい		49.4	139.5	135.0	サイズはアクリルケース（台座を含む）のもの
5	⑦木造機帆船「天神丸」	2	舵輪	だりん		137.0	137.0	10.5	説明なし

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
6	⑦木造機帆船「天神丸」	3	双眼鏡	そうがんきょう		6.0	16.0	17.5	
7	⑦木造機帆船「天神丸」	4	羅針盤	らしんばん		32.0	60.0	32.5	船や飛行機で包囲を知るために用いられた器具。
8	⑦木造機帆船「天神丸」	5	灯油ランプ	とうゆらんぷ		23.0	23.0	47.0	船内の照明器具。
9	⑦木造機帆船「天神丸」	6	碇泊灯②	ていはくとう②		29.0	27.0	85.0	展示方法／台に設置した状態での展示
10	⑦木造機帆船「天神丸」	7	エンジンテレグラフ（操舵室側）	えんじんてれぐらふ（そうだしつがわ）		25.0	25.0	92.0	焼玉エンジン側のエンジンテレグラフとつないで使用されていた。

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
11	⑦木造機帆船「天神丸」	8	気圧計	きあつけい		19.0	19.0	6.0	壁面展示
12	⑦木造機帆船「天神丸」	9	ベル	べる		35.7	30.0	30.0	壁面展示
13	⑦木造機帆船「天神丸」	10	焼玉エンジン	やきだまえんじん		145.0	360.0	230.0	「焼玉機関作動図」 焼玉機関（2サイクル機関）の作動図あり。
14	⑦木造機帆船「天神丸」	11	フェンダー	ふぇんだー		70.0	48.0	26.0	説明なし
15	⑦木造機帆船「天神丸」	12	スクリュー	すくりゅー		120.0	126.0	24.0	説明なし

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
16	⑦木造機帆船「天神丸」	13	速力計	そくりょくけい		18.0	64.0	18.0	
17	⑦木造機帆船「天神丸」	14	錨	いかり		40.0	86.0	135.0	
18	⑦木造機帆船「天神丸」	15	舷灯（左舷灯／赤）	げんとう（さげんとう／あか）		26.0	26.0	25.0	壁面展示 赤ランプ点灯
19	⑦木造機帆船「天神丸」	16	船尾灯	せんびとう		26.0	26.0	25.0	壁面展示
20	⑦木造機帆船「天神丸」	16	航海灯	こうかいとう		26.0	26.0	25.0	壁面展示

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
21	⑦木造機帆船「天神丸」	17	碇泊灯①	ていはくとう①		28.0	26.0	76.0	壁面展示
22	⑦木造機帆船「天神丸」	18	舷灯（右舷灯／青）	げんとう（うげんとう／あお）		28.0	26.0	25.0	壁面展示 青ランプ点灯
23	⑦木造機帆船「天神丸」	19	船舶表示板	せんぱくひょうじばん		28.5	54.0	2.5 厚み	
24	⑦木造機帆船「天神丸」	20	船内写真①	せんないしゃしん①		24.5	36.0		
25	⑦木造機帆船「天神丸」	21	船内写真②	せんないしゃしん②		24.5	36.0		

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
26	⑦木造機帆船「天神丸」	22	船内写真③	せんないしゃしん③		24.5	36.0		この写真右上大きな汚れあり
27	⑦木造機帆船「天神丸」	23	船内写真④	せんないしゃしん④		24.5	36.0		
28	⑦木造機帆船「天神丸」	24	船内写真⑤	せんないしゃしん⑤		24.5	36.0		
29	⑦木造機帆船「天神丸」	25	船内写真⑥	せんないしゃしん⑥		24.5	36.0		
30	⑦木造機帆船「天神丸」	26	舵・舵柱	かじ・かじばしら		311.0	122.0	23.0	

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
31	④炭鉱のようす 坑道のしくみ	1	海底炭鉱のようす 立坑櫓（模型）	かいていたんこうのようす たてこうやぐら（もけい）		160.0	162.0	190.0	**立坑櫓(模型)** 立坑方式の炭鉱モデルです。立坑は、石炭層が深い所にある場合によく使われました。直径が数メートル以上の井戸のような立穴を掘り、コンクリートなどで周囲を保護し、坑低で人や資材、石炭が出入りできるようにします。坑口の上には櫓を組み、大きな滑車(矢弦車)をつけ、ワイヤーロープで上下できるように大きな巻上機を設置して、高速運転をします。掘られた石炭は炭車ごと地上に運ばれチプラーで取出して選炭場に送られます。選炭場では炭とボタに分けられ、炭はクラッシャーで形を整えられ製品となり、ボタは埋め立てに利用されました。
32	⑤炭鉱を支えた機械	1	ジャンボドリフター	じゃんぼどりふたー		452.0	155.0	260.0	**ドリフター** 硬岩用で打撃と回転による穿孔機です。 **ジャンボ** 幹線坑道を掘るために使う掘進発破用穿孔機です。きりが岩石をたたきながら回転していき、先端ののみで岩に孔をあけます。その孔に発破(ダイナマイト)を仕掛け、岩石が破砕されます。
33	⑤炭鉱を支えた機械	2	中間トラフ	ちゅうかんとらふ		59.5	154.0	30.0	**中間(V型)トラフとコンベアーチェーン** ピックなどを使って人が手で直接掘ったものをトラフの上に落とし、中のコンベアーチェーンがモーターの力で動いて石炭を運搬します。昭和5年頃より切羽にコンベヤー採炭が導入され、昭和30年頃まで使われました。
34	⑤炭鉱を支えた機械	3	コンベアーチェーン	こんべあーちぇーん		22.0	170.0	5.0	同上
35	⑤炭鉱を支えた機械	4	ロッカーショベル	ろっかーしょべる		54.5	95.0	170.0	**ロッカーショベル** **(掘進用積込機)** 前方のショベルで岩石をすくい、はね上げてコンベアーに乗せ、うしろの炭車に積みます。宇部・大嶺炭田では、昭和34年頃から使われました。

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
36	⑤炭鉱を支えた機械	5	木製炭車	もくせいたんしゃ		85.0	116.0	100.0	**木製炭車** 石炭を運び出すための車で、鉄製炭車が使われる昭和30年以前に多く使用されました。
37	⑤炭鉱を支えた機械	6	鉄製炭車	てつせいたんしゃ		100.0	261.0	111.0	**鉄製炭車** 掘り出した岩石や石炭を積んで、運び出すための車です。
38	⑤炭鉱を支えた機械	8	ディーゼルロコ	でぃーぜるろこ		110.0	380.0	140.0	**ディーゼルロコ(6t)** 炭車や台車、人車などを運ぶ坑内用機関車です。 ディーゼル機関は、明治30年(1897年)ドイツ人、ルドルフ・ディーゼル氏によって発明され、主に船舶、発電、自動車、鉄道機関車などに使われていました。外国では昭和13年頃(1938年)、日本では昭和26年頃より坑内で使われ始めました。
39	⑤炭鉱を支えた機械	7	ジブカッター	じぶかったー		74.0	250.0	45.0	**ジブカッター** チェーンの先についたピック(刃)が高速回転して石炭をけずりとります。けずられた石炭はコンベアーで運ばれ、切羽(採炭現場)の外に搬出されます。宇部炭田では昭和35年頃から使われました。
40	⑤炭鉱を支えた機械	9	沖宇部炭鉱　斜坑銘板	おきうべたんこう　しゃこうめいばん		38.5	120.7	4.3	**沖宇部炭鉱　斜坑銘板** 沖宇部炭鉱は宇部炭田のなかでは中規模の炭鉱で、1936(昭和11)年に創業、宇部炭田閉山より一足早い1960(昭和35)年に閉山しました。その後、跡地には宇部空港（現在の山口宇部空港)が建設され、山口県の空の玄関口として利用されています。

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
41	⑤炭鉱を支えた機械	10	東見初炭鉱　斜坑銘板	ひがしみぞめたんこう　しゃこうめいばん		55.0	112.8	6.4	**東見初炭鉱　斜坑銘板** 東見初炭鉱は1908(明治４１)年に藤本閑作によって創業された宇部炭田の主要炭鉱の１つです。この斜坑は勾配が平均で20度もある急なものでしたが、１９２７(昭和2)年に出炭量増加を目的に上綱式エンドレス捲揚機を採用しました。急傾斜の斜坑で、この運搬方式を導入したのは、全国でも東見初炭鉱だけと言われています。
42	⑤炭鉱を支えた機械	12	エンドレス巻	えんどれすまき		55.0	113.0	6.3	**エンドレス巻** 木製炭車を運搬するため、ロープを止めることなく回し続けるように考え出された巻上機で、大正４年頃から、おもに水平坑道で使われました。
43	⑤炭鉱を支えた機械	13	コース巻	こーすまき		110.0	164.0	85.0	**コース巻** 木製炭車用の小型巻上機です。傾斜坑道の頂上に巻上機を設置し、ロープにつないでいる炭車を巻上げたり、巻下げたりします。戦前～昭和２５年頃まで使われました。
44	⑤炭鉱を支えた機械	16	ホイスト巻	ほいすとまき		74.0	100.0	100.0	**ホイスト巻** 木製炭車用の小型巻上機です。昭和３０年頃にコース巻を改良してつくられました。
45	⑤炭鉱を支えた機械	11	捲上機の一部（ブレーキ）	まきあげきのいちぶ（ぶれーき）		28.0	45.5	14.0	説明なし

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
47	⑤炭鉱を支えた機械	30	ブレードレスポンプ	ぶれーどれすぽんぷ		70.0	83.0	55.0	**プレートレスポンプ** ヒュガルポンプと違い、羽根がないため、泥土まじりの水を汲みだす時に使われました。
48	⑤炭鉱を支えた機械	29	タービンポンプ	たーびんぽんぷ		43.0	162.0	52.0	**タービンポンプ** 羽根が複数あり、水圧を高めてヒュガルポンプよりも高い所まで水を上げることができます。圧力を必要とする場所で使われました。
49	⑤炭鉱を支えた機械	17	プランジャーポンプ	ぷらんじゃーぽんぷ		77.0	89.0	95.0	**プランジャーポンプ** 井戸ポンプと同じ原理を応用した電気動力ポンプです。大正初期、宇部炭田坑内で使われました。
50	⑤炭鉱を支えた機械	32	真空ポンプ	しんくうぽんぷ		38.0	50.0	66.0	**真空ポンプ** 真空(マイナス)の圧力を利用して水を吸い上げるポンプです。
51	⑤炭鉱を支えた機械	33	自吸ポンプ	じきゅうぽんぷ		35.0	84.0	43.0	**自吸ポンプ** 従来のヒュガルポンプやプレードレスポンプは、吸水口が常に水に浸っていないと故障の原因になっていました。昭和25年頃、水がカラになっても故障しないように改良されたポンプで、水が時々出る場所で使われました。

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
52	⑤炭鉱を支えた機械	26	スリースバルブ	すりーすばるぶ		約 72.0	30.0	30.0	**スリースバルブ** 水を止めたり流したり、水量を調節するためのバルブで、パイプにつないで使われました。
53	⑤炭鉱を支えた機械	25	水力採炭用高圧パイプ（65A）（2 1/2吋）	すいりょくさいたんようこうあつぱいぷ（ろくじゅうごえー）（にのにぶんのいちいんち）		208.0	21.0	13.5	内径5.0cm
54	⑤炭鉱を支えた機械	24	水力採炭用高圧パイプ（100A）	すいりょくさいたんようこうあつぱいぷ（ひゃくごじゅうえー）		203.0	27.5	20.5	内径10.0cm
55	⑤炭鉱を支えた機械	23	水力採炭用高圧パイプ（200A）	すいりょくさいたんようこうあつぱいぷ（にひゃくえー）		164.0	44.5	33.0	内径19.5cm
56	⑤炭鉱を支えた機械	19	水力採炭高圧バルブ	すいりょくさいたんこうあつばるぶ		19.0	39.5	32.5	説明なし

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
57	⑤炭鉱を支えた機械	18	水力採炭モニター	すいりょくさいたんもにたー		約 50.0	158.0	88.0	**水力採炭モニター** 水力採炭とは、比較的軟らかい石炭をとる1つの方法です。水力採炭用のポンプで地下水に高い水圧(150気圧)をかけ、1分間に2tもの水をノズルから噴射して石炭を砕きます。30度の傾斜のある場所で使うため、砕かれた石炭は水と一緒に流されて集められます。山口の炭鉱では山陽無煙鉱業所(美祢市)で昭和40年前後に使われました。
58	⑤炭鉱を支えた機械	31	高圧プランジャーポンプ	こうあつぷらんじゃーぽんぷ		50.0	100.0	74.0	**高圧プランジャーポンプ** **（グラウトポンプ）** ポーリング用として使用された。
59	⑤炭鉱を支えた機械	20	高圧ビックトリックジョイント	こうあつびっくとりっくじょいんと		27.5	20.0	8.5	**高圧ビッグトリックジョイント** 水力採炭用高圧パイプの接続用金具です。 内径13.0cm
60	⑤炭鉱を支えた機械	21	高圧ビックトリックジョイント	こうあつびっくとりっくじょいんと		34.5	28.0	10.5	**高圧ビッグトリックジョイント** 水力採炭用高圧パイプの接続用金具です。 内径18.0cm

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
61	⑤炭鉱を支えた機械	22	高圧ビックトリックジョイント	こうあつびっくとりっくじょいんと		45.0	31.5	9.5	**高圧ビッグトリックジョイント** 水力採炭用高圧パイプの接続用金具です。 内径23.0cm
62	⑤炭鉱を支えた機械	14	蒸気ポンプ（模型）	じょうきぽんぷ（もけい）		40.0	143.0	78.0	**蒸気ポンプ（模型）** 明治の中頃から大正の初期まで、坑内排水用として使われました。、
63	⑤炭鉱を支えた機械	34	電気グリッド式抵抗器	でんきぐりっどしきていこうき		62.0	35.0	63.0	**電気グリッド式抵抗器** この抵抗器は主に捲上機の運転を加速したり減速する際に使用されていました。のちに液体抵抗器が登場し、このグリッド抵抗器は多用されなくなりました。
64	⑤炭鉱を支えた機械	35	油入防爆型手動式配電函（高圧防爆型手動式）	ゆにゅうぼうばくがたしゅどうしきはいでんばこ（こうあつぼうばくがたしゅどうしき）		49.0	74.0	125.0	**配電函** 油入防爆型手動式配電函 （高圧防爆型手動式）
65	⑤炭鉱を支えた機械	36	局部扇風機（プロペラファン）	きょくぶせんぷうき（ぷろぺらふぁん）		44.0	61.0	42.0	**局部扇風機** 略して「局扇」、または「プロペラファン」とも呼ばれます。坑内の切羽(採炭や掘進の最前線の現場)などへ通気を確保するために使用された小型の扇風機で、鉄製やビニール製の風管を接続して使用しました。(※館内併設の「モデル坑道」では、ビニール風管と接続した状態で展示しています。)

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
66	⑤炭鉱を支えた機械	15	矢弦（2尺）	やづる（にしゃく）		約 78.0	78.0	10.5 厚み	**矢弦（2尺）** 坑内アンドレス又はテールロープ巻のエンドプーリーに用いられた。
67	⑤炭鉱を支えた機械	28	竹製てぼ（サクションホース付き）	たけせいてぼ（さくしょんほーすつき）		約 26.0	26.0	68.0	**竹製てぼ** ホースの先に取付けて、ポンプの中にごみが入るのを防ぎました。
68	⑤炭鉱を支えた機械	27	ターボファン	たーぼふぁん		約 46.0	40.0	60.0	**ターボファン** 大量の通気量と強大な風圧を作る扇風機で遠距離用として使われました。

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
69	⑥坑道を探る（モデル坑道）	1	斜坑蒸枠（5m）	しゃこうむしわく（5めーとる）		5m			**宇部炭田の発明品** **蒸枠** 明治19年、宇部の船大工和田喜之介が、軟弱な地質の水と泥土を防ぐために発明したもので、蒸枠の完成により、いっそう海底採炭が進歩しました。
70	⑥坑道を探る（モデル坑道）	2	木枠	きわく					脚34、梁17、成木~~103~~ 114 **木枠** 比較的地質条件の良い短期間維持坑道に使われました。
71	⑥坑道を探る（モデル坑道）	3	防爆型照明電灯	ぼうばくがたしょうめいでんとう		12.0	12.0	24.0	7つのうち、ガラスシェードが失われているものが4
72	⑥坑道を探る（モデル坑道）	4	金梁	かなばり		11.0	210.0	36.0	コンクリート脚枠とセットで「金梁コンクリート脚枠」 **金梁** コンクリート脚、金梁は、比較的地質条件の良い長期または中期の維持坑道として、昭和の初めに宇部炭田で考え出されました。
73	⑥坑道を探る（モデル坑道）	5	コンクリート脚枠	こんくりーとあしわく		17.0	15.0	200.0	金梁とセットで「金梁コンクリート脚枠」 6本

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
74	⑥坑道を探る（モデル坑道）	6	成木（金梁コンクリート脚枠）	なるき（かなばりこんくりーとあしわく）					金梁コンクリート脚枠で使用されている成木 36本
75	⑥坑道を探る（モデル坑道）	7	カッペ	かっぺ		約 8.0	120.0	10.0	11個
76	⑥坑道を探る（モデル坑道）	8	摩擦鉄柱	まさつてっちゅう		12.0	12.0	210.0	30本
77	⑥坑道を探る（モデル坑道）	9	シフター　①	しふたー　①		11.0	34.0	115.0	展示向かって左側 **シフター** コンベアートラフおよびホーベルを圧縮空気により、炭壁面に押しつけます。
78	⑥坑道を探る（モデル坑道）	10	シフター　②	しふたー　②		11.0	34.0	115.0	展示向かって右側

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
79	⑥坑道を探る（モデル坑道）	11	ライスハーケンホーベル	らいすはーけんほーべる		約 30.0	70.0	45.0	**ライスハーゲンホーベル** 昭和23年頃ドイツで発見されたもので、刃のついた機械がコンベアートラフをガイドとして、ワイヤーロープを引っぱり、石炭をくずします。
80	⑥坑道を探る（モデル坑道）	12	パンツァー型コンベアー	ばんつぁーがたこんべあー		62.0	62.0	100.0	**パンツァー型コンベアー** パンツァー型ダブルチェーンコンベアーはドイツで開発された機械採炭に欠かせない切羽運搬機であり全世界の炭鋼に普及している。
81	⑥坑道を探る（モデル坑道）	13	ルーフボルト	るーふぼると		約 8.0	8.0	1.0	天井に着いている、20個 **ルーフボルト** 地盤（天盤）がくずれてこないようにボルトでしめつけて坑道を維持する方法です。
82	⑥坑道を探る（モデル坑道）	14	鉄製炭車	てつせいたんしゃ		約 260.0	126.0	135.0	軌道付き **鉄製炭車** ベルトコンベアーで運ばれてきた石炭は、炭車へと積まれ、巻上機のロープによって坑外へ運び出されます。
83	⑥坑道を探る（モデル坑道）	18	アーチ金枠（レールアーチ）	あーちかなわく（れーるあーち）		約 12.0	10.0	240.0	

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
84	⑥坑道を探る（モデル坑道）	19	成木（アーチ金枠（レールアーチ））	せいぼく（あーちかなわく（れーるあーち））					アーチ金枠（レールアーチ）で使用されている成木 114本
85	⑥坑道を探る（モデル坑道）	20	局部扇風機（プロペラファン）	きょくぶせんぷうき（ぷろぺらふぁん）		約 40.0	1200.0	40.0	
86	⑥坑道を探る（モデル坑道）	21	ビニール風管	びにーるふうかん					
87	⑥坑道を探る（モデル坑道）	22	コンクリート坑道	こんくりーとこうどう					
88	⑥坑道を探る（モデル坑道）	23	レンガ捲き坑道	れんがまきこうどう					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
89	⑥坑道を探る（モデル坑道）	15	坑内作業員人形　①	こうないさぎょういんにんぎょう①					作業着、手ぬぐい、地下足袋、キャップランプ、ヘルメット、スコップ（平スコ）着用
90	⑥坑道を探る（モデル坑道）	16	坑内作業員人形　②	こうないさぎょういんにんぎょう②					作業着、手ぬぐい、地下足袋、キャップランプ、ヘルメット、スコップ（平スコ）着用
91	⑥坑道を探る（モデル坑道）	17	坑内作業員人形　③	こうないさぎょういんにんぎょう③					作業着、手ぬぐい、地下足袋、キャップランプ、ヘルメット着用
92	⑥坑道を探る（モデル坑道）	26	写真パネル「津出し」 写真名前表示なし	しゃしんぱねる「つだし」		77.0	92.0		
93	⑥坑道を探る（モデル坑道）	25	写真パネル「炭鉱住宅」 写真名前表示なし	しゃしんぱねる「たんこうじゅうたく」		77.0	92.0		

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
94	⑥坑道を探る（モデル坑道）	27	写真パネル 「石炭採掘の光景」	しゃしんぱねる 「せきたんさいくつのこうけい」		77.0	92.0		
95	⑥坑道を探る（モデル坑道）	31	写真パネル 「エンドレス巻上機」	しゃしんぱねる 「えんどれすまきあげき」		77.0	92.0		
96	⑥坑道を探る（モデル坑道）	28	写真パネル 「東見初炭鉱全景」 写真名前表示なし	しゃしんぱねる 「ひがしみぞめたんこうぜんけい」		77.0	92.0		
97	⑥坑道を探る（モデル坑道）	24	写真パネル 「電車坑道」 写真名前は坑道	しゃしんぱねる 「でんしゃこうどう」 こうどう		77.0	92.0		
98	⑥坑道を探る（モデル坑道）	29	写真パネル 「カッペ採炭」	しゃしんぱねる 「かっぺさいたん」		77.0	92.0		

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
99	⑥坑道を探る（モデル坑道）	30	写真パネル「東見初電車竪坑櫓ケージ」 写真名は東見初エレベーター竪坑櫓ケージ	しゃしんぱねる「ひがしみぞめでんしゃたてこうやぐらけーじ」 ひがしみぞめえれべーたーたてこうやぐらけーじ		77.0	92.0		
100	⑰その他（階段）	1	写真パネル「先山（ピックハンマーで炭壁を崩す）」	しゃしんぱねる「さきやま（ぴっくはんまーでたんぺきをくずす）」		36.5	51.5	2.5 厚み	昭和20～30年代 撮影場所不明
101	⑰その他（階段）	2	写真パネル「後山（石炭をコンベヤーに流す）」	しゃしんぱねる「あとやま（せきたんをこんべやーにながす）」		36.5	51.5	2.5	昭和20～30年代 撮影場所不明
102	⑰その他（階段）	3	写真パネル「切羽でのエアーパイプの設置」	しゃしんぱねる「きりはでのえあーぱいぷのせっち」		36.5	51.5	2.5	昭和20～30年代 撮影場所不明
103	⑰その他（階段）	4	写真パネル「コンベヤーの移動作業」	しゃしんぱねる「こんべやーのいどうさぎょう」		36.5	51.5	2.5	昭和20～30年代 撮影場所不明

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
192	⑨宇部炭田の歴史と民俗	1	かぐり	かぐり					
193	⑨宇部炭田の歴史と民俗	2	南蛮車	なんば					宇部炭田の発明品 　なんばぐるまと読んでしまいますが、通称としてなんばと省略された読み方が正式な名称として定着しています。
194	⑨宇部炭田の歴史と民俗	6	天地車（滑車）	てんちぐるま（かっしゃ）		約 38.0	64.0	31.0	**天地車（滑車）** 　天保年間（1830～1843年）の南蛮車に使用されていた天地車の実物です。
195	⑨宇部炭田の歴史と民俗	10	竹製排出ポンプ（スッポン）	たけせいはいしゅつぽんぷ（すっぽん）		約 200.0	10.0	6.0	**竹製排出ポンプ（スッポン）** 　明治時代の炭鉱で、坑内の少量の排水に使われていました。
196	⑨宇部炭田の歴史と民俗	11	アサガオ	あさがお		約 200.0	112.0	73.0	「アサガオ」を風の方向に向けて、立坑の底まで通気をとりました。

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
197	⑨宇部炭田の歴史と民俗	4 ○	カキ板	かきいた					**カキ板** ツルハシで掘った石炭を、かき集める時に使われました。
198	⑨宇部炭田の歴史と民俗	5 ○	木ぐわ	きぐわ					**木ぐわ** 昭和28年頃、小野田の竜王鉱で古洞から発見された木ぐわです。運搬用に使ったと考えられています。
199	⑨宇部炭田の歴史と民俗	3 ○	目籠　小	めご　しょう					**目籠** 石炭を運ぶための籠です。 3個
200	⑨宇部炭田の歴史と民俗	7 ○	南蛮車台芯	なんばだいしん		約 30.0	44	.6.0	
201	⑨宇部炭田の歴史と民俗	8	トウシミ	とうしみ					**トウシミ** 小規模の炭鉱ではガスの危険も少ないので、照明用に使われました。 2個

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
202	⑨宇部炭田の歴史と民俗	9	ロープ（南蛮綱）	ろーぷ（なんばつな）					
203	⑨宇部炭田の歴史と民俗	12	六角蒸し枠	ろっかくむしわく		約 95.0	95.0	88.0	宇部炭田の発明品 **六角蒸し枠** 厚い板状の木を正六角形に組み合わせたもので、立坑の湧水を防ぐために使われていました。
204	⑨宇部炭田の歴史と民俗	13	百貫秤	ひゃっかんばかり		約 10.0	220.0	10.0	**百貫秤** 棹の長さ3m直径10cmの棹秤のことで炭の重さを計るための大きな秤です。
205	⑨宇部炭田の歴史と民俗	14	ケージ籠	けーじかご					**ケージ籠** 明治中期、上記機械が使われたころから、石炭や資材など入れて立坑の巻き上げに使われました。
206	⑨宇部炭田の歴史と民俗	15	鞴	ふいご		約 17.0	62.0	46.0	**鞴** 鞴とは金属精錬の際に鍛造用の火床の火力を高めるための風を送る道具です。炭鉱には抗外に鍛冶工員がいて、ツルハシやノミなどの補修を行っていました。

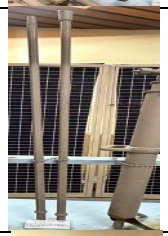
No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
207	⑨宇部炭田の歴史と民俗	16	スラ	すら		約 30.0	97.0	1.4.0	**スラ** 石炭を採掘する切羽から炭車まで、石炭を入れて運搬する小さなソリです。このソリの上に石炭を積んだ目籠（網目の大きな竹製のカゴ）を載せて、狭い坑道を這うようにして引っ張りました。
208	⑨宇部炭田の歴史と民俗	17	立坑櫓	たてこうやぐら		約 110.0	225.0	323.0	**立坑櫓** 明治時代に開発された蒸気機械を利用した立坑櫓で、ケージ籠に石炭を積んで巻上げていました。
209	⑨宇部炭田の歴史と民俗	18	手押ポンプ	ておしぽんぷ		約 53.0	182.0	84.0	**手押ポンプ** 蒸気ポンプが使えない末端部分では、人力で、汗だくになって排水していました。
210	⑨宇部炭田の歴史と民俗	19	蒸気ポンプ	じょうきぽんぷ		約 48.0	115.0	65.0	**蒸気ポンプ** 蒸気ポンプと興産会社 当時の炭鉱では、ポンプ施設が高額なため、投資ができませんでした。そこで、炭鉱に必要なポンプ、レールなどの機械類を貸しつける興産会社（俗称ポンプ会社）を設立しました。これによって各炭鉱も規模が大きくなり、ますます発展していきました。
211	⑨宇部炭田の歴史と民俗	20	ツルハシ	つるはし					

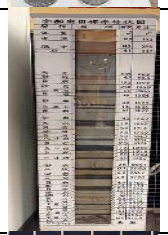
No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
212	⑨宇部炭田の歴史と民俗	21	改良ツルハシ（穂先）	かいりょうつるはし（ほさき）					5種類あり
213	⑨宇部炭田の歴史と民俗	22	改良ツルハシ	かいりょうつるはし					
214	⑨宇部炭田の歴史と民俗	23	カキ板	かきいた					
215	⑨宇部炭田の歴史と民俗	24	選炭ツルハシ	せんたんつるはし					
216	⑨宇部炭田の歴史と民俗	25	割	わり					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
217	⑨宇部炭田の歴史と民俗	26	ガンヅメ	がんづめ					
218	⑨宇部炭田の歴史と民俗	27	頭斧	あたまおの					
219	⑨宇部炭田の歴史と民俗	28	仕繰ヨキ	しくりよき					
220	⑨宇部炭田の歴史と民俗	29	見本あり名前表示なしのこぎりのような形をしている						
221	⑨宇部炭田の歴史と民俗	30	間鋸　太短	まかすがい					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
222	⑨宇部炭田の歴史と民俗	31	間鎹　細長	まかすがい					
223	⑨宇部炭田の歴史と民俗	32	立金	たてかね					5個
224	⑨宇部炭田の歴史と民俗	33	見本あり名前表示なし						3個
225	⑨宇部炭田の歴史と民俗	34	見本あり名前表示なし						1個
226	⑨宇部炭田の歴史と民俗	35	ピッケル	びっける					2本

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
227	⑨宇部炭田の歴史と民俗	36	マイト槌	まいとつち					
228	⑨宇部炭田の歴史と民俗	37	ボンコシ	ぼんこし					
229	⑨宇部炭田の歴史と民俗	38	オーガー圧気式左	おーがーあつきしきひだり		約 32.0	40.0	22.0	**オーガー圧気式** 軟弱な岩石用の穿孔機で、宇部炭田で広く使われました。
230	⑨宇部炭田の歴史と民俗	39	オーガー電動式右	おーがーでんどうしきみぎ		約 29.0	30.0	22.0	
231	⑨宇部炭田の歴史と民俗	40	ジャックハンマー	じゃっくはんまー		約 41.0	60.0	20.0	**ジャックハンマー** 回転打撃用の穿孔機で、大嶺炭田で使われました。圧縮空気を動力にしています。

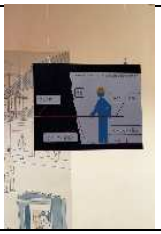
No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
232	⑨宇部炭田の歴史と民俗	41	コールピック	こーるぴっく		約 15.0	67.0	11.0	コールピック1本、先が1本 **コールピック** 打撃により炭層をくずす機械です。ツルハシの手握りにかわって登場しました。
233	⑨宇部炭田の歴史と民俗	42	オーガーのみ	おーがーのみ					3本
234	⑨宇部炭田の歴史と民俗	43	ジャックハンマーのみ	じゃっくはんまーのみ		約 2.50	2.50	184.0	
235	⑨宇部炭田の歴史と民俗	44	レッグ（写真左）	れっぐ		約 11.0	14.0	138.0	**レッグ** ジャックハンマー用の脚で、上部や水平方面の作業をする時に使われました。
236	⑨宇部炭田の歴史と民俗	45	上向穿孔機（写真右）	うえむきせんこうき		約 10.0	25.0	135.0	**上向穿孔機** 立坑など上向きの穿孔が必要な時に使われました。

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
237	⑨宇部炭田の歴史と民俗	46	水圧鉄柱	すいあつてっちゅう		約 19.0	16.0	135.0	**水圧鉄柱** 昭和32年～33年頃から出現した鉄柱です。摩擦鉄柱の設備や撤去は大変手間がかかったため、採炭作業を合理化するために考え出されました。 2本
238	⑨宇部炭田の歴史と民俗	47	カッペ	かっぺ		約 8.0	10.0	81.0	**カッペ** 今までの坑木にかわって、摩擦鉄柱と共にドイツで初めてつくり出された、天井を保持するための金属の梁です。 3本
239	⑨宇部炭田の歴史と民俗	48	摩擦鉄柱	まさつてっちゅう		約 20.0	22.0	9.6.0	
240	⑨宇部炭田の歴史と民俗	49	宇部炭田標準柱状図	うべたんでんひょうじゅんちゅうじょうず					
241	⑨宇部炭田の歴史と民俗	50	紅梅ダイナマイト	こうばいダイナマイト					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
242	⑨宇部炭田の歴史と民俗	51	導火線	どうかせん					
243	⑨宇部炭田の歴史と民俗	52	工業雷管見本	こうぎょうらいかんみほん					
244	⑨宇部炭田の歴史と民俗	53	2号硝安ダイナマイト	にごうしょうあんだいなまいと					
245	⑨宇部炭田の歴史と民俗	54	白梅ダイナマイト	しらうめだいなまいと					
246	⑨宇部炭田の歴史と民俗	55	新硝安ダイナマイト	しんしょうあんだいなまいと					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
247	⑨宇部炭田の歴史と民俗	56	5号硝安ダイナマイト	ごごうしょうあんだいなまいと					
248	⑨宇部炭田の歴史と民俗	57	MSD段発電気雷管	えむえすでぃだんはつでんきらいかん					
249	⑨宇部炭田の歴史と民俗	58	発破器	はっぱき					2個
250	⑨宇部炭田の歴史と民俗	59	30発掛発破器	さんじゅうぱつがけはっぱき					
251	⑨宇部炭田の歴史と民俗	60	テスター	てすたー					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
252	⑨宇部炭田の歴史と民俗	61	100発掛発破器	ひゃっぱつがけはっぱき					
253	⑨宇部炭田の歴史と民俗	62	グリップ	ぐりっぷ					**グリップ** ロープと炭車をつなぐための道具です。グリップをしめたりゆるめたりすることで、炭車とロープを固定したり、はずしたりします。
254	⑨宇部炭田の歴史と民俗	63	金平糖コロ	こんぺいとうころ					
255	⑨宇部炭田の歴史と民俗	64	ガイドローラー	がいどろーらー					
256	⑨宇部炭田の歴史と民俗	65	チェンホイール	ちぇんほいーる					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
257	⑨宇部炭田の歴史と民俗	66	チェン	ちぇん					
258	⑨宇部炭田の歴史と民俗	67	沖ノ山電車立坑櫓の模型	おきのやまでんしゃたてこうやぐらのもけい					
259	⑨宇部炭田の歴史と民俗	68	七甲炭（西沖ノ山鉱）	しちこうたん（にしおきのやまこう）		約 35.0	75.0	49.0	
260	⑨宇部炭田の歴史と民俗	69	コメボウ（込棒）	こめぼう		約 4.0	382.0	4	
261	⑨宇部炭田の歴史と民俗	70	チプラー（模型）	ちぷらー					**チプラー** 炭車ごと回転させ、積んでいる石炭を下に落とす装置です。

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
262	⑨宇部炭田の歴史と民俗	71	ロックピット	ろっくぴっと					
263	⑨宇部炭田の歴史と民俗	72	偏平クラウン	へんぺいくらうん					**偏平クラウン** 粘着して掘りにくい地層に使用します。
264	⑨宇部炭田の歴史と民俗	73	二段式クロスピット	にだんしきくろすぴっと					**二段式クロスピット** 軟弱地盤の穿孔を行うために、振動を少なくした錐です。
265	⑨宇部炭田の歴史と民俗	74	平型推	ひらがたすい					**平型推** 先端に超合金をうえこみ、コアーを必要としない時の軟岩および中硬岩の穿孔を急速に行う錐です。
266	⑨宇部炭田の歴史と民俗	75	メタルクラウン（76m/m用）	めたるくらうん					**メタルクラウン** 先端が超硬合金でできた、軟らかい岩や中硬岩用のコアーを採取する錐です。

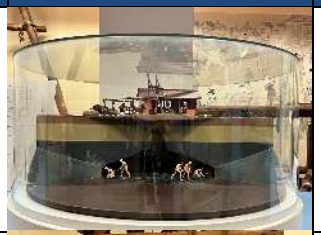
No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
267	⑨宇部炭田の歴史と民俗	76	ショットクラウン	しょっとくらうん					**ショットクラウン** ショットを砕きながら切り進む硬い岩用のコアーを採取する錐です。
268	⑨宇部炭田の歴史と民俗	77	トランシット	とらんじっと					2個
269	⑨宇部炭田の歴史と民俗	78	レベル	れべる					
270	⑨宇部炭田の歴史と民俗	79	クリノメーター	くりのめーたー					
271	⑨宇部炭田の歴史と民俗	80	ハンギングコンパス	はんぎんぐこんぱす					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
272	⑨宇部炭田の歴史と民俗	81	オーストラリアの昔の坑内照明ランプ	おーすとらりあのむかしのこうないしょうめいらんぷ					1929年頃
273	⑨宇部炭田の歴史と民俗	82	ドイツ炭鉱マーク	どいつたんこうまーく					
274	⑨宇部炭田の歴史と民俗	83	ドイツ安全灯	どいつあんぜんとう					
275	⑨宇部炭田の歴史と民俗	84	キャップランプ	きゃっぷらんぷ					
276	⑨宇部炭田の歴史と民俗	85	プラット形ロープ	ぷらっとがたろーぷ					6×F((3×2＋3)×9) C/L 38mm

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
277	⑨宇部炭田の歴史と民俗	86	JIS1号 見本なし名前表示だけ	じすいちごう					6×7 C/L 30mm
278	⑨宇部炭田の歴史と民俗	87	JIS3号	じすさんごう					6×19 G/O 30mm
279	⑨宇部炭田の歴史と民俗	88	JIS4号	じすよんごう					6×24 G/O 30mm
280	⑨宇部炭田の歴史と民俗	89	コールカッター用	こーるかったーよう					IWRC 6×Fi(25) 18 mm
281	⑨宇部炭田の歴史と民俗	90	坑内小型巻用	こうないこがたまきよう					6×24 16 mm

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
282	⑨宇部炭田の歴史と民俗	91	立坑巻上用坑内小型巻用	たてこうまきあげようこうないこがたまきよう					6×19 20 mm
283	⑨宇部炭田の歴史と民俗	92	斜坑巻上用エンドレス用索道用	しゃこうまきあげようえんどれすようさくどうよう					6×7 24mm
284	⑨宇部炭田の歴史と民俗	93	斜坑巻上用エンドレス用スクーロープ	しゃこうまきあげえんどれすようすくーろーぷ					30 mm
285	⑨宇部炭田の歴史と民俗	94	斜坑巻上用三角ストランドロープ	しゃこうまきあげようさんかくすとらんどろーぷ					6×F(4＋7) 32 mm
286	⑨宇部炭田の歴史と民俗	95	斜坑巻上用エンドレス用索道用サンロープ	しゃこうまきあげようえんどれすようさくどうようさんろーぷ					32 mm

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
287	⑨宇部炭田の歴史と民俗	96	立坑開さく用シンキングロープ	たてこうかいさくようしんぎんぐろーぷ					4×Fi(29) 38 mm
288	⑨宇部炭田の歴史と民俗	97	立坑開さく用シンキングロープ	たてこうかいさくようしんぎんぐろーぷ					4×F(10)＋6×F(10)　32 mm
289	⑨宇部炭田の歴史と民俗	98	立坑テール用サンヘルクレスロープ	たてこうてーるようさんへるくれすろーぷ					46 mm
290	⑨宇部炭田の歴史と民俗	99	立坑巻上用コンセントクリックロープ	たてこうまきあげようこうこんせんとくりっくろーぷ					195＋8×F(10)　52 mm
291	⑨宇部炭田の歴史と民俗	100	南蛮車女人形　4人	なんばおんなにんぎょう　よにん					頭は豆絞り手ぬぐいかぶり、絣のひざ上着物、赤のたすき、赤のひざ上までの腰巻、ひざ下から足くびまでの黒の足袋、わらじ着用。

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
292	⑨宇部炭田の歴史と民俗	101 ○	宇部炭田南蛮車模型	うべたんでんなんばもけい					
293	⑨宇部炭田の歴史と民俗	102 ○	宇部炭田ひねり人形	うべたんでんひねりにんぎょう					
294	⑨宇部炭田の歴史と民俗	103 ○	宇部炭田炭車模型	うべたんでんたんしゃもけい					
295	⑩燃える石炭	1	無煙炭	むえんたん		69.0	55.0	141.0	大明下層炭 カロリー　6.370 cal 重さ　1トン
296	⑩燃える石炭	2	有煙炭	ゆうえんたん		44.0	117.0	84.0	沖ノ山五段炭 カロリー　5.850 cal 重さ　1トン

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
297	⑩燃える石炭	3	有煙炭	ゆうえんたん		47.0	68.0	111.0	沖ノ山五段炭 カロリー　5.000 cal 重量　700 kg
298	⑪すまい	1	炭住	たんじゅう					一般の鉱員が住んでいた炭鉱住宅は、略して「炭住」(たんじゅう)と呼ばれていました。 明治40年頃は、「納屋」(なや)と呼ばれた長屋式のもので、1棟を六畳一間で仕切り、10軒ほどの家族が住んでいました。1棟の天井がつつ抜けなので、数軒先までも声が聞こえる状態であったといいます。大正5年の炭住は四畳半と三畳、昭和5年以降からは改良されて六畳と四畳など広くなりましたが、大手の炭鉱と小規模な炭鉱ではかなりの差がありました。 この模型は、昭和11年頃の沖宇部炭鉱の長屋式の炭住うです。六畳と四畳半の広さがありましたが、水道、風呂、便所は共同でした。 りっぱな家ではありませんが、皆で生活を共にるすという意識が強く、近隣の情が厚かったといわれています。
299	⑪すまい	2	石炭ストーブ	せきたんすとーぶ		40.0	37.0	44.5	昭和三十年代の燃料流体化の大きなうねりを受け、この産炭地宇部の家庭の暖房も石炭から石油に変わった。このストーブは昭和四十年まで実際に家庭で使われた最後の石炭焚きストーブである。
300	⑪すまい	3	石炭ストーブ	せきたんすとーぶ		40.0	50.0	81.0	宇部市内の過程で昭和40年代頃まで使用されていたもの。 寄贈　末山哲英氏 復元協力　宇部興産株式会社　宇部藤曲工場

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
301	⑪すまい	4	炭住に住んでいる鉱員の人形	たんじゅうにすんでいるこういんのにんぎょう					白のダボシャツ、ステテコで仕事終わりに焼酎や酒を飲んでくつろいでいる。
302	⑫炭鉱を支えた道具たち	1	棹取グリシオ	さおとりぐりしお		4.0	61.0	4.0	昭和30年代
303	⑫炭鉱を支えた道具たち	2	棹取五寸	さおとりごすん		5.0	15.3	5.0	
304	⑫炭鉱を支えた道具たち	3	炭票	たんひょう					
305	⑫炭鉱を支えた道具たち	4	棹取笛	さおとりふえ		2.0	2.0	5.5	

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
306	⑫炭鉱を支えた道具たち	5	棹取の用具手袋	さおとりのようぐてぶくろ		2.5	9.0	40.5	
307	⑫炭鉱を支えた道具たち	6	竹製信号スイッチ	たけせいしんごうすいっち		3.0	34.0	3.0	
308	⑫炭鉱を支えた道具たち	7	防爆スイッチ（ゴム製）	ぼうばくすいっち（ごむせい）		2.5	21.0	4.0	
309	⑫炭鉱を支えた道具たち	8	弁当入れ	べんとういれ		11.0	11.0	12.5	大正時代
310	⑫炭鉱を支えた道具たち	9	水入れ	みずいれ		6.0	16.0	18.0	大正時代

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
311	⑫炭鉱を支えた道具たち	10	竹巻尺	たけまきじゃく		9.0	43.0	43.0	50 m
312	⑫炭鉱を支えた道具たち	11	スチール巻尺	すちーるまきじゃく		2.0	24.5	24.5	100 m
313	⑫炭鉱を支えた道具たち	12	箱尺	はこじゃく		5.0	8.0	175.0	

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
314	⑫炭鉱を支えた道具たち	13	坑外用照明用のカンテラ	こうがいようしょうめいようのかんてら		9.0	8.0	15.0	
315	⑫炭鉱を支えた道具たち	14	貯炭場電灯代用のカンテラ（大・中・小）	ちょたんばでんとうだいようのかんてら　ちゅう		10.0	8.0	11.0	明治時代
316	⑫炭鉱を支えた道具たち	15	貯炭場電灯代用のカンテラ	ちょたんばでんとうだいようのかんてら		5.0	10.0	6.5	明治時代
317	⑫炭鉱を支えた道具たち	16	貯炭場電灯代用のカンテラ	ちょたんばでんとうだいようのかんてら		7.0	7.0	18.0	明治時代

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
318	⑫炭鉱を支えた道具たち	17	貯炭場電灯代用のカンテラ	ちょたんばでんとうだいようのかんてら		8.0	9.0	11.0	明治時代
319	⑫炭鉱を支えた道具たち	18	カンテラ①	かんてら		7.0	7.0	16.0	昭和時代
320	⑫炭鉱を支えた道具たち	19	カンテラ②	かんてら		10.0	10.0	17.0	昭和時代
321	⑫炭鉱を支えた道具たち	20	カンテラ③	かんてら		10.0	10.0	17.0	
322	⑫炭鉱を支えた道具たち	21	カンテラ④	かんてら		11.0	11.0	18.0	

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
323	⑫炭鉱を支えた道具たち	22	カンテラ⑤	かんてら		12.0	11.0	14.0	
324	⑫炭鉱を支えた道具たち	23	キャップランプ	きゃっぷらんぷ					
325	⑫炭鉱を支えた道具たち	24	坑内作業衣①	こうないさぎょうい					絣の袖なし上着、豆絞り手ぬぐい
326	⑫炭鉱を支えた道具たち	25	坑内作業衣②	こうないさぎょうい					横縞茶入り袖なし上着
327	⑫炭鉱を支えた道具たち	26	坑内作業衣③	こうないさぎょうい					上下カーキ色

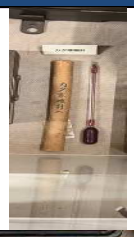
No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
328	⑫炭鉱を支えた道具たち	27	坑内作業衣④	こうないさぎょうい					上下灰色
329	⑫炭鉱を支えた道具たち	28	坑内帽（布製）	こうないぼう（ぬのせい）					黒色
330	⑫炭鉱を支えた道具たち	29	救護隊用帽子	きゅうごたいようぼうし					カーキ色
331	⑫炭鉱を支えた道具たち	30	足半	あしなか					
332	⑫炭鉱を支えた道具たち	31	脚半	きゃはん					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
333	⑫炭鉱を支えた道具たち	32	わらじ	わらじ					
334	⑫炭鉱を支えた道具たち	33	地下足袋	じかたび					
335	⑫炭鉱を支えた道具たち	34	保安靴	ほあんくつ					
336	⑬いのちを守った道具たち	1	誘導無線電話機	ゆうどうむせんでんわき					
337	⑬いのちを守った道具たち	2	ウルフ安全灯　2本	うるふあんぜんとう					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
338	⑬いのちを守った道具たち	3	ビトー管	びとーかん					
339	⑬いのちを守った道具たち	4	一酸化炭素検知器 名前表示なし	いっさんかたんそけんちき					
340	⑬いのちを守った道具たち	5	漏風試験器	ろうふうしけんき					
341	⑬いのちを守った道具たち	6	酸素検知管 名前表示なし	さんそけんちかん					
342	⑬いのちを守った道具たち	7	COマスク	しーおーますく					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
343	⑬いのちを守った道具たち	8	CO検知管	しーおーけんちかん					
344	⑬いのちを守った道具たち	9	携帯用空気圧力測定器	けいたいようくうきあつりょくそくていき					**携帯用空気圧力測定器** 炭鉱の機械係員が携帯していたもので、採炭現場でコールピックハンマーの空気圧をチェックするために使われました。
345	⑬いのちを守った道具たち	10	牛蒡木固模型　1/12	ごぼうきこもけいじゅうにぶんのいち		約 25.0	62.0	15.0	宇部炭田の発明品 作成　浅野正策 6尺×6尺　木枠
346	⑬いのちを守った道具たち	11	ガス自動警報器	がすじどうけいほうき					
347	⑬いのちを守った道具たち	12	ガス分析器	がすぶんせっき					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
348	⑬いのちを守った道具たち	13	精密ガス検定器	せいみつがすけんていき					
349	⑬いのちを守った道具たち	14	地電圧計	ちでんあつけい					
350	⑬いのちを守った道具たち	15	測風計	そくふうけい					
351	⑬いのちを守った道具たち	16	電気発破器能力試験器 名前表示なし	でんきはっぱきのうりょくしけんき					
352	⑬いのちを守った道具たち	17	温度記録器	おんどきろくき					

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
353	⑬いのちを守った道具たち	18	カタ寒暖計	かたかんだんけい					
354	⑬いのちを守った道具たち	19	ボンド試験器	ぼんどしけんき					
355	⑬いのちを守った道具たち	20	直流電圧計①	ちょくりゅうでんあつけい					
356	⑬いのちを守った道具たち	21	直流電圧形②	ちょくりゅうでんあつけい					
357	⑬いのちを守った道具たち	22	メガー	めがー					**メガー** 絶縁抵抗を測定する機械で漏電を未然に防止します。

No.	収蔵場所（コーナー名）	番号	品名	よみがな	写真	サイズ（cm）			備考
						縦	横	高さ	
358	⑮ギャラリーコーナー	1	救護隊員人形	きゅうごたいいんにんぎょう					万が一、事故が起きた時は、坑内にいる人々を助けるための救護隊が結成されていました。救護隊員は選ばれた訓練を受けた優秀な社員で、普段は坑内で働いていました。 救護隊用カーキ色上下服、皮ベルト、皮のケースの圧力計、キャップランプ、ヘルメット、背中にボンベ、COマスク、保安靴着用。
359	⑮ギャラリーコーナー	2 ○	炭鉱(やま)を生きた女人形① エブを持った女	やまをいきたおんなにんぎょう えぶをもったおんな					**エブ** かき寄せた石炭やボタを炭車（たんしゃ）やスラまで運ぶ際に使う道具で、割り竹を編んだものを「竹（たけ）エブ」、針金で編んだものを「金（かな）エブ」といいます。 頭に豆絞り手ぬぐいかぶり、ひざ上紺の着物、腰に白い紐、絣のたすき、わらじ着用。
360	⑮ギャラリーコーナー	3 ○	炭鉱(やま)を生きた女人形② カキイタを持った女	やまをいきたおんなにんぎょう かきいたをもったおんな					**カキイタ** 先山が掘った石炭やボタをかき寄せるために使う道具です。 頭に豆絞り手ぬぐいかぶり、ひざ上紺の着物、腰に白い紐、絣のたすき、わらじ着用。
361	⑮ギャラリーコーナー	4	沖ノ山炭鉱（株）の社章が入った茶碗	おきのやまたんこうかぶしきがいしゃのしゃしょうがはいったちゃわん					
362	⑰その他（階段）	1	石炭の用途説明標本工業系統標本	せきたんのようとせつめいひょうほんこうぎょうけいとうひょうほん					